

〔専門医による講話〕

- 1 テーマ 喫煙防止教育
- 2 対象 1年次
- 3 専門医 川合 厚子 医師  
(社会医療法人公徳会  
トータルヘルスケアクリニック)
- 4 実施月 9月
- 5 内容(キーワード)  
タバコの実態、  
タバコとがんとの関係  
命や生き方の選択・行動  
禁煙サポーター



評価(あてはまるものに○をつけ、理由を記入)

①健康課題の解決について

- 有効だった  
有効でなかった

<その理由>

- \*タバコの有害性、中毒性、薬物性について理解することができた。
- \*タバコや自分の人生選択について興味関心を喚起した。
- \*自分や家族の問題として捉え、家族に提言しようという行動化がはかれた。

②校内の組織づくりについて

- 有効だった  
有効でなかった

<その理由>

- \*年次、生徒保健課と連携し実施。
- \*生徒保健委員が運営を行う荒砥高校の継続事業として認知されている。

③校外の関係機関等との連携について(派遣専門医を含む)

- 有効だった  
有効でなかった

<その理由>

- \*喫煙防止教育を継続してきた実績から実情に合わせた講演で教育効果が大きい。
- \*イエローグリーンキャンペーン模擬コーナー作成によって広報活動のイメージをつかんだ。

〔受講者の感想など〕

- 今日、先生に聞いたことを親に話してみ、少しは吸うことを減らしてくれるかなと思います。
- ニコチン依存者はタバコに洗脳されているのだと感じました。
- 母は喫煙者です。母にはがんになってほしくないのでタバコ以外に楽しみを見つけてほしいと思いました。



〔教科やその他の指導との関連性〕

- 教科保健 1年次「健康の保持増進と疾病予防」(10~11月)
- がん外部講師講演会(9/20)